

【事例 H25-01-43】埼玉県所沢市

所沢市が運営する自死遺族支援事業
＝わかちあいの会ところざわ＝

埼玉県内の一部地域で開催されていた自死遺族対象のわかちあいの会を、所沢市主催で開催し、西武線沿線および西部地域の遺族がわかちあいの会に参加しやすくなるようにした。

【実施主体】埼玉県所沢市

【大綱の分類】遺族支援を含む段階ごとの対策

【事業予算】120 千円（H22）、60 千円（H23）、30 千円（H24）

【利 点】

▼行政が主催することで安心感が生まれ参加しやすくなり、遺族の選択肢を広げることができる。

▼担当課は精神保健福祉業務の主管課であるため、個別支援を行うことが可能である。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

・平成 22 年の開始当時は、自死遺族を対象としたわかちあいの会は、埼玉県内では東部地域で民間団体が実施する 1 箇所のみであった。所沢市周辺の遺族は都内等の遠方で開催されるわかちあいの会に参加していた。

・そのため、遺族への支援として、所沢市が主催するわかちあいの会の開催を検討した。所沢市で開催することで、西武線沿線および西部地域の遺族がわかちあいの会に参加しやすくなると考えられた。

【計画を立てる上での工夫・等】

- ・事前の相談や申込み、インテーク等を行わず来た方を受け入れる。
- ・参加は遺族のみとして関係者の見学は受け入れない。
- ・知人などに会う心配から居住地に近い会場に参加しにくい遺族も多いため、他市からの参加も歓迎する。
- ・わかちあいの会では、氏名等の個人的なことを話す必要はない。
- ・他の方の発言への感想や質問、アドバイスなどを自由に発言ができるようにする。
- ・ひとりの人が話し続けることがないように時間に対して配慮する。
- ・遺族同士が発言で傷つからないように配慮する。（個人的なことを聞くこと。体験の比較など）
- ・グループでのわかちあいが困難な方は、部屋を変えるなどして個別に対応する。

- ・子ども連れで参加された場合は、職員がこどもの対応をする。
- ・アンケートで感想を聞くことなどはしない。
- ・担当職員はメモや記録をその場では行わない。
- ・参加者全員がわかちあいの場で有意義な時間が過ごせるように配慮する。

【具体的な内容・実施の過程】

- ・平成 22 年 6 月から平成 23 年 6 月までは外部から進行役を招き開催した。
- 平成 23 年 8 月から所沢市保健センターの精神保健福祉士（固定）が進行役を行う。
- ・開催日は偶数月の第二土曜日、当初は午後 1 時から午後 3 時まで、参加者の雰囲気によって延長することもあった。平成 27 年から二部構成とした。第一部は午後 1 時から午後 2 時 30 分まで、保健センターの精神保健福祉士が進行する。第二部は午後 2 時 30 分から午後 5 時まで、遺族のみで行っている。

【成 果】

- ▼ 当初の参加者は少なかったが、ひとりでも参加していただければ良いと考え継続した。
- ▼ 4 年目以降は参加される方が増え、現在は毎回 8～10 人が参加されている。
- ▼ 第一部は静かな雰囲気、第二部はリラックスした明るい雰囲気で行われている。

【補 足】

- ・参加者の推移

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
12	21	23	37	54	54	54

【課 題】

- ・現在、多くの自治体では自死遺族支援は自殺防止対策と並行して行われていると思われる。しかし、遺族のなかには自殺防止のメッセージを見て心を痛める人がいることは事実である。「自殺は防ぐことができる」というメッセージを見て「防げなかった自分」を責めてしまい、市役所に行き難くなることがあるということは、わかちあいの会を通してことで知ることができた。
- ・遺族は辛い気持ちを抱えながらも、参加をためらっている場合が多いため、継続することが大切であると考えている。
- ・自死遺族支援は従来の自殺防止対策の取り組みとは別の視点も必要である。わかちあいの会は遺族の置かれた状況や気持ちを知ることができる機会であり、自殺防止対策を進めて行くうえでも必要な場である。

【事業種別】 強化モデル事業

【準備期間・人数】 6 か月・1 人

【予防段階】 3 次

【自治体規模】 34 万人（H28 年度）

【自治体負担率】 0%

【事業対象】 自死遺族

【支援対象】 自死遺族

【実施主体・問合せ先】 埼玉県 所沢市 健康管理課 こころの健康支援室

TEL:04-2991-1812

E-mail: b9911812@city.tokorozawa.lg.jp

【参考資料・文献】

(ア) 自死遺族ケア団体全国ネット サポーター研修会報告書

(イ) 自死遺族ケア団体全国ネット スタッフ研修会報告書

【作成日】 2017/5/22